



令和5年3月号

< 3月の予定 >

木曜日 9日・16日・23日・30日 2日	17:30～19:00 (全員:駒場体育館剣道場) 19:00～20:00 (全員:本太中学校修道館) ※18:45 準備運動、19:00 礼式の予定
土曜日 4日・18日 11日	15:00～17:00 (全員:本太中学校修道館) 15:00～17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:本太中学校修道館)
25日	13:30～17:00 (全員:本太中学校修道館)
■ 4日(土) 15:00～17:00	後期昇級審査会 (本太中学校修道館)
■ 25日(土) 13:30～17:00	6年生を送る会 (本太中学校修道館)
■ 25日(土) 19:00～22:00	6年生の保護者を送る会(浦和伊勢丹7階アズーリクラシコ) ※夜の修道館のお稽古はありません

< 4月の予定 >

木曜日 全て	17:00～19:00 (全員:駒場体育館剣道場)
土曜日 1日	15:00～17:00 (全員:本太中学校修道館)
8日・15日・22日	15:00～17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:本太中学校修道館)
29日	昭和の日 お休み
■ 8日(土) 15:30～16:30	第1回剣道教室申し込み受付(駒場体育館2階会議室)
■ 15日(土) 9:00 受付 9:30 開会式	一級審査会・合同稽古会 (大宮武道館)
■ 15日(土) 15:30～16:30	第2回剣道教室申し込み受付(駒場体育館2階会議室)
■ 22日(土) 15:30～16:30	第3回剣道教室申し込み受付(駒場体育館2階会議室)

< 5月の予定 >

木曜日 11日・18日・25日 4日	17:00～19:00 (全員:駒場体育館剣道場) みどりの日 お休み
土曜日 6日	15:00～17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場)
13日	15:00～17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:本太中学校修道館)
20日	15:00～17:00 (全員:駒場体育館第1体育室)
27日	15:00～17:00 (全員:駒場体育館剣道場)
■ 13日(土) 13:00～15:00	剣道教室初回(駒場体育館剣道場又は第1体育室)
■ 13日(土) 15:15～	定期総会(駒場体育館第1体育室)
■ 20日(土) 13:00～15:00	剣道教室2回目(駒場体育館剣道場又は第1体育室)
■ 27日(土) 13:00～15:00	剣道教室3回目(駒場体育館剣道場)

※ 状況により中止や稽古場所が変更になることがあります。

詳細等は slack にてご確認ください。

◎令和5年度 剣道教室を以下の内容で開催します◎

期 間：5月13日(土)～7月1日(土)までの毎週土曜日(計8回)

13時から15時

場 所：駒場体育館 又は 本太中学校修道館

募集学年：小学1年生から6年生

参加費用：1,200円(スポーツ障害保険料込み)

お近くにご興味のある方がいらっしゃいましたら、お声掛けをお願いします





本荘先生からのお言葉

年度の最終月になりました。暖かい日が増え春めいてきました。それとともに6年生が巣立っていく日も近づいてきています。1回1回の稽古を大事に取り組んでいきましょう。

2月19日(日)にはサイデン化学アリーナにおいて「浦和少年剣道錬成会」が行われました。午前は約10人のグループで16試合場に分かれ、勝つと1つ上がり負けると1つ下がるという1分30秒通し三本勝負の錬成試合をやりました。高学年を第1試合場から割り振りました。駒剣勢は1, 2試合場で踏ん張る6年生が多く、また下の方から上がってきた4, 3年生もいたようです。約50分それをやったのち1, 2試合場の20人でトーナメントを、3, 4試合場で・・・という形で8つのトーナメント試合を行いました。ここでも優勝者こそいませんでしたが、上位まで残った者がおりました。午後は中学生も参加しての団体戦を行いました。こちらは通常の5人制で、小学生は5, 6年生と4年生以下と2つに分けて実施しました。駒剣からは6年生男子チーム、6年生女子チーム、4年生チーム、3年生チームと4チームが参加、勝負も大事ですが仲間との良き思い出ができればという気持ちで送り出しました。6年男子チームは決勝戦まで行き2位となりました。でもあと1本でしたね。5人であと1本をどうできたか、ここが課題です。4年生チームは準々決勝で代表戦となり、そこで長い長い試合になりました。延長1分を5回やっても決まらない場合は5分の休憩というルールを2回使い、死闘の末1本取りました。これは自信になりますね。準決勝で敗れたものの、これから駒剣を背負っていくメンバーがなにかをつかめたのなら大きなプラスでした。6年女子チームも1つ勝ちましたし、3年生チームも良い経験になりました。

たくさん試合をしました。これが良い経験と捉えてくれば良いのですが、逆になる場合もあります。負けて負けてどんどん下がっていき試合することが、剣道自体が嫌いになってしまう場合もあるのです。指導者は試合数が多くなる試合稽古ではいろいろと配慮する必要があると思います。

その4日後、23日(祝・木)には駒場体育館の競技場半面を使って「北浦和やどかり剣生会との交流会」を行いました。まず、試合場を2面作り、小学生の6人制と中学生・一般の7人制を各団体2チーム作り、2試合ずつやりました。小学生はやどかりさんが少なく、一般は駒剣が少なく、2回ずつ出場する選手は大変でしたが、こちらも良い試合になりました。(駒剣の大人で剣道嫌いになっていないことを祈ります)その後、元立ち稽古、同士の稽古もでき、記念撮影してお開きとなりました。今度は稽古会の後の会もというお誘いもうけ、次回の楽しみもできました。2年続けて開催できたので、塚剣同様、毎年恒例となるといいですね。お世話になりました。

さて、3月25日(土)に「6年生を送る会」を行います。今年の6年生の特徴はなんですかね。1つはだんだんと女子が増えてきて最後は男子より多くの仲間ができたこと。男子は男子で存在感があり、しっかり主張ができるメンバーでした。一つ下がいない中で男女とも後輩の面倒をよくみていたのも印象に残っています。コロナ禍の影響は受けましたが、ここ1, 2年で比べれば夏合宿はできたし大会もほぼ実施したし、幸せな学年だったといってもいいのでしょうか。先の錬成会も数年ぶりにやれた感じがありますし、埼玉大学の寒稽古も復活し参加できました。いろいろな経験ができたことは大きな財産です。中学校に行ってから活かせるといいですね。また、久しぶりに夜「保護者を送る会」も開催予定です。こちらもよろしく願いいたします。

とりあえずの卒業です。皆さんは駒剣OB・OGでありずっと縁は続いていきます。夏合宿やOB会に参加願います。昇段したり進学先が決まったりしたら報告に来てください。土、日曜日、修道館という稽古場がありますので遠慮せずいつでも稽古に参加してください。卒業おめでとう！11人全員がよくがんばりました。



卒業生の皆さんへ



山田 節男先生

卒業おめでとうございます。

この原稿を読まれる頃は、3月ですね。歌にあるようにまだ「春は名のみ風の寒さ」の頃かもしれませんが、水温む（みずぬるむ）気配は十分になっているのではないのでしょうか。

昨年一昨年の卒業生を送る言葉には、コロナになってからの不自由な生活で例年のような活動ができなかったことに触れていたと思います。

一年前も同じような始まりでしたが少しずつ良い方向へ変わっていった一年でした。

今年の夏合宿はいろいろなことを注意してたくさんの方たちの協力で久しぶりに実施することが出来ました。いくつかの大会や錬成会も工夫しながらできました。不自由な中でもたくさんの思い出に残る活動ができたと思います。

剣道教室はまだ開けませんでした。いろいろな方の協力で随時（ずいじ）入会できる体制ができて、新しい会員がたくさん入会してくれました。そのおかげで今年の6年生の学年の人たちは、この3年間のコロナ禍のなかでも少しずつ増えてきました。2年生からの各学年で入会してきた人がいたような気がしています。6年生になってから入った人も、そして夏の合宿が過ぎてからも剣道に興味を持って入りたいと入会した人もいました。いつの間にか11名というたくさんの卒業生です。そして、その人たちを含むみんなが親しくなってくれたように思っています。

さて、外はまだ完全な春ではないかもしれませんが、少しずつ暖かくなりすぐにすっかり春になるはず。やがて生活も思い通りの活動ができるようになるはず。

みなさんはそのようななかで中学に入学します。ぜひ積極的に様々なことに取り組んで、いろいろなことを考えて体験してください。その時にそれができるのはいろいろな人が工夫して支えてくれていることも忘れないでください。

おしまい。みなさんはこれからもずっと私たち駒剣の一員だということを覚えていてください。卒業おめでとう。

太郎の百錬自得



第 106 回

長谷部 太郎先生

小学 6 年生のみなさんへ

みんな卒業おめでとうございます。いよいよ今年もこの季節になってしまいましたね。毎年のことですが、成長した君たちを送り出す嬉しい気持ちと、一方で同じくらい寂しい気持ちになります。これは残るものの宿命ですかね。出会いがあり、別れがあるのが世の常です。きっと君たちも一旦これまでの友と別れ、また新たな友と 4 月から出会うことでしょう。どうか心をオープンに、新たな友と交流を深めて、自分の世界を広げていってください。

剣道は日本発祥の武道です。相手を敬う礼の気持ち。片刃を両手で持って挑む捨て身の精神。日本ならではの考え方や特徴で成立しているんですね。それらは世界に受け入れられ剣道は広がっています。

剣道は一本を争う競技でありつつ、そこにおさまるものではないと私は思っています。剣道の本質は正々堂々相手に対峙して逃げずに勝負するということ、そしてこれができたとき剣道は人々の心を打つのです。心を打つということは、人の心の奥に眠っている共通している芯に通じることです。こういったことはわかりやすく答えを得られないことです。

自ら経験しないと絶対にわかりません。君たちは駒剣でその精神の一端を教わりました。どうかこれからも共通する芯を追求していってください。



世界は広い。ものすごい人数が地球にいます。

いろんな考え方、習慣がありますが、みんな同じ人です。

大事なことは自分の意見をはっきり言えることです。そしてみんなは若い。

可能性の宝庫です。広い世界に広がる可能性、明るく前を向いて人生を進んでいってください。

そして最後をお願いを。ぜひ駒剣にまた顔を出してください。できれば防具と竹刀を持って稽古しましょう。剣を交えて会話をできればこれほど嬉しいことはありません。

そして残るみんなへ

先輩たちがいつでも気持ちよく顔を出せるように稽古を頑張っていきましょう。

みんなが一本一本を大事に稽古をすれば、必ず駒剣はこれまで以上に盛り上がっていくはず。まずは 3 月しっかり 6 年生と一緒に稽古して、送り出すことですね。

それが 4 月につながると思います！それでは今月も稽古楽しく頑張りましょう。

新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

ちょっと、立春も過ぎて、寒さが和らいできたかな？ところで、みんなは、節分で豆をまいたかな？年の数だけ豆を食べるって知ってた？ジャイアンは、いっぱい食べることができるけど、口の中の水分がとられてしまうので、あんまりうれしくないな。え？そういう意味で食べるんじゃないの？

ところで、先日の錬成会ではよくがんばったな。寒稽古の成果が出ていたような気がするぞ。だけど、いつもいうけど、試合の後は、反省が大切だ。そして、反省した後は、それを生かして稽古に励むことが大切だな。(反省だけならサルでもできる。っていうCMが昔あったけど、みんなは知らないかな。)

特に錬成会では、田島団地剣友会だったか田島剣友会だったか、はっきり覚えていなかったけど、最初のアップの時から大きな声が出ていて、いい感じだったな。準備体操も、素振りもそろっていたように思うぞ。試合結果も大切だけど、やはり、そういうところに本当の強さが出てくるんじゃないかな？

ということで、今日の1つめの話題は、「そろえる」「あわせる」ということにしよう。

剣道は、個人でやるから、他の人に合わせる必要はないという考えもあるかもしれないな。でも、ジャイアンはちょっと違うと思うな。いっしょに稽古する仲間にあわせることで、全体の雰囲気が高くなって(「士気が上がる」って言ったりするぞ)、つらい練習もがんばることができたり、上手な人のリズムを覚えたりすることができるし、回りの人のことを考えることができるようになるぞ。それと、回りの人のことを注意深くみることで、自分の悪いクセがわかったりするな。だから、全体で準備体操したり、素振りしたりするときは、みんなとあわせるようにするのが大切なんだ。もちろん、初心者で、あわせるのが難しい人は、無理しなくていいぞ。逆に、上級者があわせられるようじゃないと、上級者としては、まだまだだな。試合場などで、みんながそろって準備体操や素振りをするのであれば、対戦相手に強いプレッシャーを与えることができるぞ。団体戦の整列も同じだな。そういった目で考えてみてくれよな。

次に、2つ目の話題。3月になって、いよいよ卒業、あるいは進級だな。新しい生活が始まると思うので、この機会に、剣道についても、目標を考え直すといいと思うぞ。みんなは、お正月に今年の目標を立てたと思うけど、目標どおりに行っている人は少ないんじゃないかな？そういう人は、こういう節目で目標を修正するといいぞ。うまくいっていない人は実現可能な少し低めの目標にして、達成できるようにがんばろう。予定よりもうまくいっている人は、目標を少し高めに修正しよう。そうすることで、目標を決めた効果がでてくるぞ。だって、できもしない目標のまま、1年過ごしたって、何にもならないもんな。

ジャイアンも、目標通りには進んでいないので、ちょっと修正することにするぞ。1年で200回稽古しようと思ってたんだけど、ちょっと無理そうなので、150回に修正だ。月12.5回。4週で考えると、週3.125回だな。う～む。これでも厳しいか・・・でも、目標はあくまで高く。がんばるぞ。

じゃあ、またな！



令和4年度 浦和少年剣道錬成会

令和5年2月19日(日)

@サイデン化学アリーナ

勝ち上がり、負け下がり方式で、たくさんの他の剣友会の子供たちと試合をすることができました。
結果は、団体戦で小学5、6年生の部で駒剣Aチームが準優勝！
4年生以下の部で駒剣Aチームが3位！！と健闘しました！！

【個人トーナメント 試合結果】

小学生の部

宮島くん	(☐) メ	—	梅澤くん (美園)	落ち着いて、良い技を出せていた。
	(メ) ☐	—	池田くん (緑の風)	余裕をもって試合に臨んでいた。面に対する応じ技が出せるとよかった。
	—	(メ) メ	佐藤さん (緑の風)	打たれた相面は、2本とも相手に攻め込まれていた。自分のペースに持ち込めるよう工夫しよう。返し胴はおしかった。
並木くん	—	(☐) ☐	日比野くん (中尾)	頑張って技を出していたが一步及ばずでした。
廣江くん	(メ) メ	—	神尾さん (一心館)	おちついて相手をよく見て攻めてました。
	—	(メ) ☐	井櫻くん (緑の風)	相手が打ってから技を出しています。自分から攻めましょう。
小野塚(晴)くん	—	(☐) メ	望月くん (埼玉田島)	積極性はあったが相手のペース、間合いで試合して先手を取られてしまった。
工藤(有)さん	—	(メ)	瀧川さん (埼玉田島)	小手など技を出せていました。相手に負けない気合でこれから頑張りましょう。
高山くん	(メ)	延長	飯塚さん (緑の風)	技も声も出せていませんでした。延長になり、ようやく1本取れてよかったです。
	—	(メ)	池田くん (緑の風)	自分から技をだせていなかったのもっと積極的に攻めるとよかったですと思います。
百木さん	—	(メ)	原くん (埼玉田島)	相手に合わせて打っているの打つのが遅い。当たっても抜けたり決め切れてないので一本にならない。もっと足を使って動こう。前に出よう。
保岡さん	—	延長	世古くん (やどかり)	手数がかせげず相手にスキをつかれました。
岩滝さん	(半)	延長	松本さん (領家)	攻めよし。一足一刀×→つがない。小手・胴狙いよし、もう少し相手を攻めて引き出して打つ。
	—	(☐)	山田さん (緑の風)	序盤攻め負けた。後半良し。手元は最後まで上げない。切り落とし面のようで惜しいものも有。返し胴打てず。出小手惜しいの有。
小野塚(朔)くん	—	(メ)	長谷川くん (一心館)	慎重になりすぎた。一本取られた後が単調なので上下に打るとよかったです。
葛西(し)さん	—	(メ)	佐々木さん (中尾)	惜しい技もたくさんありました。決め切る、打ち切る、残心を取ると一本になっていたかも！積極的に打っていました！

工藤(悠) (メ) コ —
くん

(メ) メ —

(メ) メ —

(メ) メ —

— (メ)

本田さん
(美園)
坂巻くん
(緑の風)
野崎さん
(三室)
佐々木くん
(中尾)
宮内さん
(緑の風)

佐藤(柚) (メ) —
くん

(メ) —

延長

(メ) — (ド 判)

田崎くん
(三室)
高橋さん
(美園)
佐々木くん
(中尾)

海江田くん — (メ)

高橋さん

酒井くん (メ) —

延長

(メ) —

(メ) —

— (メ)

川合さん
(一心館)
柳瀬くん
(一心館)
須永くん
(田島団地)
佐藤さん
(緑の風)

高見くん — (メ)

服部くん
(天翔)

出口くん (メ) メ —

(メ) — (ド メ)

田代くん
(緑の風)
佐々木くん
(中尾)

練習していた小手が決まりました。

面が決まりましたが、もっと打ち切りたいです。

面がきれいに入りました。もっと声出しましょう。

自信をもって面を打っていました。

少し慎重になってました。遠間からももっと打てるように頑張ろう。

追いかけて、相手が振り返ったところへの面がうまく入りました。技のバリエーションが少ないのが反省点。

追いかけて、相手が振り返ったところへ面を2回打ち込み、旗が上がりました。

相手よりも多く打ち込んでいたようでしたが、有効打突に近い技が少なかったようです。

スタミナが切れ、途中から動けてなかった。

フェイントからの面が一発で決まりました。

延長でも集中でき、良い面が決まりました。

先に面が決まりました。

連戦の疲れと、上級生？との対戦で、惜しくも敗戦となりました。今後の稽古につなげてください。

技をたくさん出していましたが、タイミングよく相手の面が入ってしまいました。よく攻めていたと思います。

素早く勝負を決めることができました。

思い切りのよい面打ちができていました。



【団体戦 試合結果】

【4年生以下の部】

駒場剣友会Aチーム

1回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	岩滝	葛西	工藤 (悠)	佐藤	小野塚 (朔)	4 (7)
	ⓧメ	X	ⓧメ	ⓧメ 一本勝	ⓧメコ	
三室 B						0 (0)
	片山	黒川	清尾	土屋	木幡	
コメント	よし。自分から立ち上がり、攻めて技を出せてよかった。もう少し声と気合出ると良い。	やりにくい相手でしたが、惜しい技が何度もありました。打ち切れると良いですね！	見事な小手からの、せめて面が決まりました。練習の成果です。素晴らしい！	攻めて良い面が決まりました。その後も果敢に打っていき良かったです。	落ち着いて大将らしい試合ができました。2本目の小手、完璧でした！	

2回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	岩滝	葛西	工藤 (悠)	佐藤	小野塚 (朔)	5 (9)
	ⓧメ 一本勝	不戦勝 ○○	ⓧメ	不戦勝 ○○	ⓧメメ	
田島団地						0 (0)
	大久保		松隈		羽田	
コメント	2段技の変化が良かったです。打ってこない、面をよける相手にどうすれば一本取れるか考えよう	-	またまた良い小手が決まりました。その後の面も思い切りが良かったです。	-	やりにくい相手でしたが、よく攻めて一瞬のスキをついたすばらしい面でした。	

3回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)	代表戦
駒場剣友会 A	岩滝	葛西	工藤 (悠)	佐藤	小野塚 (朔)	2 (3)	小野塚 (朔)
	ⓐ 一本勝		メメ				
北浦和やどかり			ⓧ	一本勝 ⓓ	一本勝 ⓧ	2 (3)	神津
	満田	富田	結城	諸江	神津		
コメント	初小手で一本良くできました。もう一本取れた。攻めて面何度もあたらぬ=攻めたりないor変化が必要。	落ち着いてよく相手を見れていました。下がらず、前に出ていく姿勢が良かったです。	思い切りの良いすばらしい出頭面が炸裂しました。先にとられましたがよく返しました。	思い切り打てていました。打たれた胸は自分から攻めて打ったのでOK! 相手の返し胸の後、よく狙って惜しかったです。	OK! 得意の攻めで、攻め切った面、何本か惜しいのありました。フェイント (相手の) にも引っかけからよく見れてました。		頑張った! 長い時間、集中力を切らずにねばり強く試合し、最後は飛び上がるほど素晴らしい面が打てました。

準決勝

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)	祝・3位入賞!
駒場剣友会 A	岩滝	葛西	工藤 (悠)	佐藤	小野塚 (朔)	1 (2)	3
					ⓧメ		
埼玉田島 A		ⓧメ	ⓧ 一本勝			2 (3)	
	東 (陽)	吉田	望月	須田	(陽芽) 東		
コメント	打つ時に姿勢を崩さない。打ち切れれば一本の技もあり、心技体不一致。足ついで。	一番気合が良かったです。自信をもって思い切り打てると良いですね。	相手が返し胸した後も打てて良かった。惜しい出頭面も多かったです。とられた面はOK、まっすぐでは勝っていました。	よく攻めて積極的に打てていました。何本か、打ち切ると一本になる技もありました。惜しかった。	素晴らしい相面でした。大将として立派な試合をしてくれました。		

【4年生以下の部】
駒場剣友会Bチーム

1回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)	代表戦
駒場剣友会B	酒井		出口	高見	海江田	2(4)	酒井
	ⓧ			不戦勝 ○○			
原山			ⓧ		ⓧ	2(4)	ⓧ 原澤
	松田		堀口		原澤		
コメント	フェイントをうまく使って攻めていました。		良いところを出す前に一本とられてしまいました。		相手の勢いに少し押されてしまいました。		惜しくも敗れてしまいましたが、次回頑張りましょう！

【5・6年生の部】
駒場剣友会Aチーム

初戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場剣友会A	廣江	並木	小野塚 (晴)	高山	宮島	5(10)
	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	
美園B						0(0)
	高橋	清水	本田	平野	宮崎	
コメント	落ち着いて試合が出来ていた。	勢いによって良い面が決まった。	迫力のある面が決まりました。	自分から前に出ていました。	初め相手のペースに合わせてしまったが、落ち着いて決めていた。	

準決勝

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	廣江	並木	小野塚 (晴塚)	高山	宮島	5 (9)
	メメ	メメ	メ一本勝	メ反	コメ	
一心館				▲▲		0 (0)
	枝並	鈴木	佐藤	神尾	長谷川	
コメント	落ち着いて日本決めていました。	きれいな面が決まりました。	少し様子を見るときもあったが、面は良く決まりました。	少し待ちに回ることが多かったが、自分から打ちにいった一本が取れました。	しっかり相手を見て対応していました。	

決勝

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	廣江	並木	小野塚 (晴塚)	高山	宮島	2 (3)
		メメ			コ一本勝	
緑の風			メメ	メコ		2 (4)
	池田	斎藤	山田	佐藤	井櫻	
コメント	良い間合いで落ち着いて試合ができていた。	自分のペースで積極的に攻めており、見事二本勝ち。	攻めが単調で相手のペースになってしまった。	受け身が多く、相手の手数がつ勝っていた	落ち着いて自分から攻めて一本取り意地をみせた。	

祝・準優勝!



駒場剣友会Bチーム

1回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場剣友会B	工藤 (有)	戸田	保岡	中山	百木	3(5)
	ⓧ 一本勝	不戦勝 ○○		X	ⓧメ	
埼玉田島B			ⓧ 一本勝	X		1(1)
	佐藤		川瀬	森	田口	
コメント	面がきれいに決まりました。そのあと慎重になっていたのも、もっと強気で頑張ろう！	-	手数が出せずに一本取れませんでした。次に頑張ろう！	とても力強く打ちに行けていたと思います。初試合とは思えない冷静な動きでした。	自分から先に出ることができたのが良かったです。とてもきれいな良い面でした。	

2回戦

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場剣友会B	工藤 (有)	戸田	保岡	中山	百木	0(1)
	X	▲				
緑の風		ⓧメ	ⓧ 一本勝	ⓧメ	ⓧメ	4(7)
	池田	飯塚	山田	佐藤	井櫻	
コメント	惜しい小手がありました。攻めていましたが決まる一本がなかったです。次頑張らましよう。	最後まであきらめずに頑張っていました。次も頑張らましよう。	我慢の時間が続きました。先行された後、取りに行く意識を持って次は頑張らましよう。	とても強い相手に粘り強く耐えていました。よく頑張りました。	一本目は出るのが遅く相面で負け、2本目は相手に出されたところを打たれた。するどい面が打てるようにならう！	

【参加者の感想】

- 宮島くん 浦和少年剣道錬成会に参加させていただき、ありがとうございました。個人戦トーナメントの準決勝では、自分が攻めていないところで打ちに行き、一本取られてしまったので、これからの稽古で直していきたいです。団体戦の決勝戦では、2本勝ちできずチームが負けてしまったので、とても悔しかったです。でも、緑の風と戦えてとてもいい経験になりました。地稽古では、他の剣友会の強い子たちと稽古出来たので、有意義な錬成会になりました。
- 並木くん 今回の錬成試合では「上手に技を決めた！」と思う打ちと、そうではないと思う打ちの差が激しかったのが反省点です。なぜ反省点かと言うと、相手との声の大きさが違ったからです。相手よりも声が大きいと打ち切ったと感じられますが、声が小さいと感じると打ち切った感じが無かったからです。次の試合では、“声”に気をつけて試合に挑みたいです。
- 廣江くん 錬成会にださせていただきありがとうございます。
個人戦トーナメントは相手に相面で負けてしまい2本とられてしまいました。
団体戦は先鋒でした。1、2回戦は、勝ってチームに勢いをつけることができました。
決勝では相手と引き分けで、自分が一本とっていたら優勝できたかもしれないので悔しかったです。もっと相手を崩しながら攻めていきたいです。
- 小野塚(晴)くん 負けた試合は相手に合わせてしまったところが反省点です。勝った試合は自分から攻めて打つことができました。団体戦では自分の剣道ができて気持ち良く試合ができました。決勝戦ではリズムを取られて負けてしまったので今後の稽古で直していきたいです。チームワークよくできたことが良かったです。多くの人と試合ができて良い経験になりました。
- 工藤(有)さん コロナの中で良い経験をさせて頂きありがとうございました。錬成試合では、1コートから始まり、2コートで踏ん張る事ができ嬉しかったです。気合いが出せたことが良かったです。団体戦では、女子だけのチームで楽しかったです。二回戦目まで進めましたが、そこで一本を決めきれぬ事ができず引き分け、チームでも負けてしまいました。今回、強い人たちとたくさんの試合ができて楽しかったです。自分の反省点を活かし、稽古をもっと頑張りたいです。
- 高山くん 浦和剣連錬成会に参加させていただき、ありがとうございました。
今回は今までずっと一緒に稽古してきた仲間と5人で団体戦に出場できて、とても楽しかったです。優勝を目指していたので、決勝で本数の差で負けたのが悔しかったです。個人的には、打ちが遅くて相手に一本取られてしまったので、打ちが速くなるようにこれからも稽古を頑張っていきたいです。
- 戸田さん 錬成会が初めての試合でした。
1試合目不先勝でした。不戦勝の所作を学びました。
2試合目は守っているだけでした。最初に打てるようにしたいです。
思った事を意識して稽古にはげみたいです。

- 中山さん 今回は、浦和少年剣道錬成会に出場させて頂きありがとうございます。
駒剣の人だけじゃなく、さいたま市の人達と試合をして、やっぱり上手い人はたくさんいて、上手い人の胴や面、小手などをたくさん見れました。今回学んだことを生かして、これからの稽古にもはげみたいです。
- 百木さん 錬成会に参加させていただきありがとうございました。
個人戦では、慎重に考えれば考えるほど、前に出ることができずに負けてばかりでした。団体戦ではこの日一番良い面が打てました。自分からしかけることができたからだと思います。
改めて、気持ちを強く持つことの大切さを身をもって学びました。技術面では鋭い打ちと鋭い動きができるように、足がもっと使えるように、これからも頑張ります。
- 保岡さん 今回の錬成会では、日頃の練習の成果を十分に出すことができず、自分の中ではもうちょっと力を出せたかなと思うこともあるので悔しかったです。特に団体戦で私は1度も勝つことができなかったのですが、みんなで頑張って1回勝つことができたのでとても嬉しかったです。これからも日頃の稽古を一生懸命にやって、剣道が上手くなるように頑張りたいです。
- 岩滝さん 「錬成会や午後の団体戦でたくさん試合をすることができ、練習した技を出してみることも出来ました。初めて小手が一本になってうれしかったです。なかなか打ってこない相手に二段技(小手面)でおいしい一本があったのも良かったです。小手で崩して面を打ったときに足を速く引き付け次の面もしっかり打てるようにしたいです。返し胴はタイミングが上手く合わず打てなかったのが悔しかったです。あと、一足一刀で打てず足をついでしまうことが多かったのも反省点です。これからの稽古では、
- ・足をつがないように注意する
 - ・色々な相手に返し胴や出小手などの練習をする
 - ・打った後に体勢を崩さない、体のじくをぶらさないようにすることを気をつけます。
- 小野塚(朔)くん 個人戦では自分から攻めて打つことができ3コートまであがれてうれしかったです。個人トーナメントでは相手に先に攻められて一本取られて焦ってしまい、普段の稽古が出せなかったのを直したいです。団体戦ではいつもの力が出して良かったです。初めての代表戦で何度も延長して大変だったけどみんなが応援してくれたおかげで勝つことができました。チームメイトのおかげでたくさん勝ててうれしかったです。
- 葛西(し)さん 山田先生に大きな声で元気よくしっかり抜けるようにアドバイスをもらって、自信をもつてのぞみました。結果は、錬成会では2勝3敗、個人戦トーナメントは1回戦負けでした。団体戦では、2引き分け1敗、1不戦勝でとてもくやしかったので、次また錬成会がある時にはもっとチームのために頑張ろうと思いました。
- 工藤(悠)くん 前半の錬成試合では凄く悔しかったけど、後半の団体戦では気持ちを切り替えてたくさん勝てたので良かったです。でも、反省点はたくさんあったので、次の試合でその反省点を意識できるようにしたいです。団体戦の小野塚くんの延長戦が凄いと思ったので、僕もそういう場面で勝てるように強くなりたいです。
- 佐藤(柚)くん 勝ち上がり、負け下がりの個人戦は、4勝2敗で2つ上に行けました。そこでのトーナメントでは3回戦で負けました。どの試合でも、判定が多く、一本を決められなかったのが反省点です。団体戦はみんなに応援したり、応援してもらったり、楽しかったです。みんなでとった3位でうれしかったです。これからは、一本をとる剣道をしたいです。

海江田
くん

初めての錬成会に参加して初めは緊張して動けなかった。ほとんど負けてしまって悔しかった。最後のほうは低学年と試合をしたが体力が持たず、判定負けしたことが悔しかった。団体戦は原山剣友会と対戦したが相手は3人なのに負けてしまった。駒剣の他のチームの皆はまだ試合ができてるの観て、もう少しやりたかったなって思いました。最後の稽古は参加させて貰って普段会わない人達と稽古できたことは楽しかったです。

酒井くん

①個人戦のトーナメントで他の学年の人達と試合が出来た事が楽しかったし嬉しかったです！とても良い経験になりました！
②試合で技を出せるようになりたいです！だから練習で技を覚えたいです！

高見くん

はじめての大きい大会は楽しかったです。試合では、あまり技が決まらなかったのもっと、基本打ちの稽古をたくさんがんばりたいです。次は技を決めて勝てるようにがんばりたいです。

出口くん

ぼくは、個人戦では勝ちと負けが半分ずつくらいでした。個人戦では上の方の試合場に行くにつれ、上の学年の選手がたくさんいたので、みんな強かったです。ぼくは13番から始まって11番まで上がりました。大会で初めて胴が決まったのは嬉しかったけど、一度、判定で負けてしまったのが残念でした。今度は積極的に技を打って、判定負けがないようにしたいです。



令和4年度 北浦和やどかり剣生会交流会

令和5年2月23日(木・祝)

@駒場体育館

例年、交流の深いやどかり剣生会と交流試合を行いました。小学生の部、中学生以上の部ともに白熱した試合の連続でした。やどかり剣生会の皆さま、ありがとうございました。

【小学生の部】

チーム名	先鋒	次鋒	五将	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	酒井	海江田	岩滝 (愛)	百木	高山	宮島 (佑)	3 (6)
	メ				メ	メ	
やどかり 剣生会 A		メ	ト 一本勝	ト 一本勝			3 (4)
	富田	(世 結古)	黒上	赤羽	(世 朝古)	赤羽	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	酒井	海江田	岩滝 (愛)	百木	高山	宮島 (佑)	0 (3)
	メ		メ			ト	
やどかり 剣生会 B	メ	メ	メ	メ	メ 一本勝	メ	5 (10)
	結城	満田	結城	林	中田	林	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 B	出口	高見	工藤 (悠)	工藤 (有)	並木	廣江 (大)	2 (4)
				メ	メ		
やどかり 剣生会 A	メ 一本勝	メ	メ		▲		3 (5)
	富田	(世 結古)	黒上	(世 朝古)	赤羽	(世 朝古)	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 B	出口	高見	工藤 (悠)	工藤 (有)	並木	廣江 (大)	2 (4)
				メ	ドド	メ 一本勝	
やど 剣生会 B	メ	メ	メ	メ			4 (8)
	満田	結城	満田	中田	林	中田	

【中学生以上の部】

チーム名	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	俵	本田	岩滝 (晶)	清水	岩滝 (晶)	渡辺	廣江 (剛)	0 (2)
		メ	メ					
やど 剣生会 A	メ	メ	メ	コ		コ		4 (9)
	平井	今野	宮岡	大和田	平井	村岡	栗原	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 A	俵	本田	岩滝 (晶)	清水	岩滝 (晶)	渡辺	廣江 (剛)	1 (4)
	▲	メ	コ			メ		
やど 剣生会 B		メ	ド		コ	コ		2 (6)
	寺田	叢	小野	富田	富岡	野沢	塩田	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 B	宮島 (英)	宮島 (大)	工藤 (高)	宮島 (大)	工藤 (高)	山田	本荘	3 (5)
		コメ		メメ		▲	メ 一本勝	
やどかり 剣生会 A		メ			コド	メ▲ 一本勝		2 (4)
	平井	今野	宮岡	大和田	平井	村岡	栗原	

チーム名	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	勝数 (本数)
駒場剣友会 B	宮島 (英)	宮島 (大)	工藤 (高)	宮島 (大)	工藤 (高)	山田	本荘	4 (7)
	メコ	メメ			コド		メ 一本勝	
やどかり 剣生会 B			コ 一本勝	ドメ		メ 一本勝		3 (4)
	寺田	叢	小野	富田	富岡	野沢	塩田	



卒業生 & 保護者の方から駒剣のみなさんへ

卒業に際し、6年生と保護者の皆さまに溢れる想いを書かせていただきました。
共に過ごした時間を思い返しながらか、じっくりご覧ください。

【卒業生より】

宮島くん

僕は、2年生の時に駒剣に入会しました。姉と父が剣道をやっていた影響で剣道教室に参加し、はじめはあまり気乗りしなかったけれど、入会したら楽しいと思うことが多かったのを覚えています。初心者指導の時は、すり足、素振りなど基本的な動作を教わりましたが、とても難しく、思ったよりも大変なんだなと思いました。先輩たちと一緒に稽古をするようになってからは、もっと稽古がきつくなり、毎回ついていくのがやっとでした。でも、続けていくうちに段々といろいろな技ができるようになってたり、その技を使って試合で勝てるようになってたりして、剣道が楽しいと思うようになり、それが自信にもなりました。駒剣では礼儀などたくさんのおこを学び、また、僕は一緒に稽古をしてくれる仲間の大切さも実感しました。

6年生では、キャプテンとして、自分がみんなを引っ張っていかなければならないということを感じながら稽古に臨みました。と同時にその難しさをこの一年で感じました。特にみんなに的確な指示を出すのが難しかったです。でも、大勢の前に立って一人で話したり、選手宣誓をさせていただいたのでとても良い経験になりました。この経験を中学生になっても生かしていきたいです。コロナで稽古ができなくなった時にオンライン素振りをしたり、クリスマス会、合宿で優勝できたりと駒剣での思い出はたくさんあります。また、県大会に出場したり、埼大の寒稽古で皆勤したりと、たくさんのおこを積むことができた5年間でもあったと思います。

5年間で剣道をやめたいと思ったことは一度もありませんでした。それは、いつもあたたかく教えてくださった先生方、家族のおかげなので、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

剣道教室の後に、「剣道を続ける」の選択をして本当に良かったなと思います。中学生になっても剣道続けて、駒剣で教わったことを忘れず稽古に励みたいです。これからも修道館に行ったときはご指導よろしくお願ひします。今まで本当にありがとうございました。

並木くん

僕は幼稚園の頃から剣道に憧れて、2年生で駒剣に入会しました。剣道始めた頃は体力が持たず、なかなか木曜日の稽古に出れませんでした。2年くらい続けて体力が付いてきて、週2回の稽古に出れるようになり、試合でも勝てるようになっていきました。それは、体力面、精神面など様々な面で支えて下さった先生方や保護者の方々、一緒に稽古してくれた駒剣士のみんなのお陰だと思っています。今まで支えてくださり、本当にありがとうございました。

廣江くん

僕は2年生から剣道を始めました。最初にやったときは防具、竹刀が重たくて大変でした。1、2年間くらいやって少しなれてきました。身長が低いので面をとるのが大変でいつも胴しか打ってませんでした。

6年生になって相面がとれるようになってきたので嬉しかったです。県大会や強化練習会にも出させていただいて試合がうまくできるようになりました。しかし、大会では1位をとったことないので中学校でたくさん練習して1位をとりたいです。

ここまで育ててくださった先生方、駒剣士の皆様ありがとうございました。

小野塚(晴)
くん

僕は、3年生から4年間、駒剣でお世話になりました。始めたころは、上手く打てなかった基本打ちや切り返し、応じ技も先生やみんなとの練習のおかげで上手にできるようになりました。稽古がつらいなあと思うときもあったけれど、夏合宿やクリスマス会、月例試合など僕の駒剣での思い出は楽しいものばかりです。一緒に稽古してくれた駒剣士のみんな、細かいところまでよく見てくれてたくさんのご指導をしてくださった先生、先輩方、会場の準備や当番など支えてくださった保護者の方々、今日まで本当にありがとうございました。

工藤(有)
さん

私は、5年生から剣道を始めました。最初に見たときは簡単そうだなと思っていただけ、いざやってみたらいろいろな決まりがあったり、竹刀が重かったりと難しいことばかりでした。試合では、先輩と戦うことが多かったので負けることが多かったです。経験の差から負けるのは当たり前だったけど、やっぱり悔しかったし、自信がなくなってしまったこともありました。でも、勝てるようになりたいという思いからたくさん練習して、技も打てるようになり、だんだん試合に勝てることも増えて、負けても楽しいと思えるようになりました。6年生の寒稽古を乗り越えてからは、さらに勝てるようになった気がします。クリスマス会や合宿など楽しい行事もたくさんあったので、いろいろな人と仲良くなることもできました。違う学年の人と仲良くなるのは初めてだったので、とても嬉しかったです。この経験を活かして中学でも頑張りたいです。2年間ありがとうございました。

高山くん

ぼくは3年生の時に入会しました。一番嬉しかった思い出は、6年生の浦和剣道大会で団体戦に出場させていただき、初めて準優勝して銀メダルをもらったことです。でも、勝てる試合で引き分けてしまったのでくやしい思いも残りました。一番嬉しかった思い出は、6年生で初めて夏合宿に行き、仲間と3日間過ごしたことです。スイカ割りも稽古も部屋の中も全部楽しかったです。一番大変だった思い出は、3年生の時、初めて駒剣寒稽古に参加したことです。休みなしのかかり稽古、地稽古、竜田川は死にそうでした。駒剣に入会してよかったことは、良い先生と仲間に出会えたことです。駒剣で教えていただいた事を忘れずに、これからも剣道を続けていきたいです。そして、いい結果を報告できるようにがんばります。4年間ありがとうございました。

出口(夏)
さん

私は駒剣に6年生の11月の終わりから入会し、約4ヶ月間お世話になりました。駒剣に入会しようと思ったのは、中学校見学のときに、弟のために剣道部を見たことがきっかけでした。剣道場に入るときは必ず、お願いしますと言う、見学するときも正座して見る、というように少し厳しいと思いましたが、それが魅力的に感じました。初めての稽古では、蹲踞(そんきょ)や構え、打ち方の正しいやり方を先生方に教わりました。ちょっとしたクセがあり正しく打つのはなかなか難しかったですが、稽古を積むに連れ、だんだんと先生にも褒められるようになり、自分で成長を実感しました。昇級審査も受けさせてもらえることになり、皆さんに認められたようで嬉しかったです。まだ試合に出られるほど上手はありませんが、見取りをしていると、何を打っているのか大体わかるようになってきました。そこに剣道の楽しさを感じます。私は駒剣の楽しい行事や、みんなが仲の良い駒剣士、保護者の皆様、そして正しい剣道を教えてくれる、優しい先生方に出会えてよかったと思っています。中学校でも剣道を頑張ります。今までご指導、一緒に稽古をしてくださり、ありがとうございました。

- 戸田さん 約1年間お世話になりました。
合宿では長い時間剣道したのは初めてでした。その分他の剣士と楽しく過ごせて嬉しかったです。
先日のやどかり剣生会どの交流会では一緒に始めた子と久しぶりに会い、一緒に稽古出来たのが嬉しかったです。
今まで一緒に稽古した皆さん、いつもアドバイスをくれてありがとうございます。先生方ご指導ありがとうございました。
中学校では面だけではなく胴も決めれるように頑張りたいです。
- 中山さん 私は1年も剣道をしていませんが、先生の指導のお陰で、級ももらえました。先生方だけでなく、駒剣のみんなが相手をしてくれたり、優しく教えてくれたから、今剣道ができています。最初はできなかった胴打ちですが、今ははじめより少し打てるようになりました。駒剣の皆さんには、感謝してもしきれません。皆さんに習った技術と礼儀を、中学でも生かしていきたいです。今までお世話になりました。
- 百木さん 私は2年生の時に駒剣に入会しました。剣道教室ではカッコいい竹刀を振ることができ、剣道って楽しいなと思いましたが、私はもっと他にやりたいスポーツがあるから剣道はやらないと決めていました。しかし兄が入会すると言うので、なぜか私も入会することになりました。入会すると楽しいだけではなく、辛くて何度も行きたくない辞めたいと思いました。稽古が終わればやってよかったと思うのですが、稽古に行く前は嫌で嫌で何度も母とケンカをしました。3年生で夏合宿に行った時、女子の先輩と過ごしたことがとても楽しく、先輩のように強くなれるように頑張ろうと思いました。頑張ろうと思い、参加した錬成会では負け続け悔しくて泣き、初めて参加した埼大寒稽古は、大学生の先輩の迫力が怖くて泣いてしまったのを覚えています。
その年兄が卒業し、女子の先輩もいなくなってしまう、とても心細く、また辞めたくなくなりました。しかし、新しく入会してくる子に恥ずかしくないようにしようと、心を強く持ち頑張りました。
卒業となった今年、たくさんの行事ができるようになり、また楽しいなと思えることがたくさんありました。剣道はかわらずあまり好きではないけれど、だからといって剣道を習わなければよかったと思えないのは、支えてくださる先生方や楽しく過ごせる友達など、辛いこと以上に嬉しいことや楽しいことがあったからだと思います。
私は、剣道を通じて挨拶や礼儀、忍耐を学び、たくさんの友達を得ることができました。
先生方、先輩方、保護者のみなさま、駒剣士のみなさま、5年間ありがとうございました。
- 保岡さん 私は、5年生から駒剣に入会し、2年間お世話になりました。たまたま母に剣道の体験に行ってみたらといわれたことがきっかけで、卒業までとても楽しく稽古できました。始めは女子の人数が少なかったですが、次々に仲間が増え、この間の錬成会では、女子だけで団体チームができ、共に戦うことができたことが良かったです。ただ、私自身は団体戦では勝てなかったのもっと稽古に励みたいと感じました。
中学になって、これまでと全く異なる環境になるので、始めは大変だと思いましたが、早くペースをつかみ、稽古に参加する時間をつくりたいと思います。



【卒業生保護者より】

宮島くん(母)



小さい頃から個性的だったので、彼の選択や表現には驚かされることが多かったのですが、2年生のときニコニコして参加していた剣道教室後は「(剣道)やんないよ♪」と言っておりました。そこで父が、今ある機会を大切にしよう根気強く話していたことは懐かしい思い出です。

“稽古はつらいときもあるけど楽しい。かかり稽古は休憩したくなるけど絶対にしない。試合楽しみだな～。〇〇くんに教えてあげたんだ” 何気なく話す言葉の一つひとつは、だんだん少なくなり、あっという間に過ぎていきました。特にキャプテンとしての1年はうまくいかなかったことも、後ろ向きに感じたことも、私の前では口にも顔にも出さず、皆さんに支えていただきながら自分なりに全うしていたように思います。

親から見て多趣味な佑聡は、生活のなかでも様々なことを比較的器用にこなすタイプですが、剣道は特に真剣に取り組み、楽しんでいたように感じます。素晴らしいものに出会えて本当に良かった、大きな宝物をいただけたと嬉しく思っています。

息子がここまで続けることができたのは師範の先生方、錬成部の先生方のご指導や、温かい保護者の方々、駒剣士の皆さんのおかげです。ありがとうございました。駒剣は卒業ですが、これから息子には、周りの方への感謝の気持ちを忘れず、また個性あふれる選択を重ねて豊かな人生をつかってほしいと思います。

彼を支え、育ててくださった駒剣の皆さま、本当にありがとうございました。結びに。姉の入会から始まった駒剣生活、我が家は7年間でした。私たち家族にとって大切な場所になりました。今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。

並木くん(母)



幼稚園での6歳の誕生日会の壇上で「将来は剣道の選手になりたいです！」と堂々と話した6歳の優汰が今でも思い出されます。

この駒場剣友会で教えて頂いたことは剣道だけではなく。まだ芽を出していないけれど、人としての根っことなる大切な事を教えて頂いたと思っております。

優汰は駒剣を卒業しますが、駒剣で学んだ事を胸にこの先も様々な事に自信を持って挑戦して行って欲しいです。

師範の先生方をはじめ、錬成部の先生方、後援部の皆様に支えられ、駒剣士たちとお稽古できた事は、何よりも素敵な、何にも代えられない時間でした。今まで教え導いてくださり感謝しております。ありがとうございました。

廣江くん(父)



5年間大変お世話になりました。大河は2年生の剣道教室から姉とともに入会しました。本荘先生直々に竹刀の握り方から教えていただいたこと、昨日のように覚えています。当時、同学年は宮島君、並木君、百木さんだけでしたが、その後小野塚君、高山君が入会し、この数年も6年生が何人も入会してくれました。最終的に沢山の剣友に恵まれたこと、何より感謝しています。

実は大河は剣道よりもサッカーがやりたかったのですが、「サッカーはきついスポーツだ。まずは剣道で根性をつけたらどうだ。」という理不尽な父の言葉で剣道を始めました。稽古も休まず一生懸命やっていたのでその後サッカー教室にも通うようになりましたが、サッカーは最近飽きてきたようです。剣道を好きにさせていただいたこと、長く続けるための基礎を身に付けさせていただいたこと、師範並びに錬成部の先生方には感謝の言葉しかありません。私も尾島先生の教えを守り、極力我が子の剣道に口を出さないよう努めました。

(笑) 途中には、モチベーションが下がっていた時期もありました。一つは姉が卒業した直後。(意外と二人は仲がよいのです…) もう一つはコロナ禍。しかし、長谷部先生発案のオンライン素振りに始まり、子供達が楽しみにしている行事もやれることはやろうという駒剣の方針がやる気を支えていただいたと思っています。家の前で人目を気にしながら三人で木刀を振ったりタイヤを打ったりしたのが懐かしいです。

6年生で夏合宿に参加できたのも親子共々よい思い出です。私自身としても、いつも後援部のお仕事を小野塚さんや百木さんにお任せしてばかりで申し訳ない気持ちがあったので、合宿委員として少しはお役に立てて安堵しました。

最後になりますが、大河は中学校でも剣道が続けると言っておりますので、剣友の皆さん、今後も切磋琢磨し仲良くしてあげてください。先生方、保護者の皆様、変わらぬお声掛け叱咤激励をよろしくお願い致します。

小野塚くん(父)



小学3年生で参加した剣道体験教室から4年間にわたり、師範の先生方、錬成部の先生方並びに保護者の皆様には大変お世話になりました。駒剣全体の和やかな雰囲気、人間形成を軸とした先生方の丁寧なご指導、駒剣士たちと楽しく過ごした時間により、心身ともに大きく成長させてもらえたことに感謝の気持ちで一杯です。

大部分をコロナ時代と重なる特別な世代でしたが、周りの大人の皆さまがその時々で出来る最善の対応を取ってくださり、子供たちも驚くほどその環境に適応してたくましく楽しく過ごすことができたことは、息子にとってかけがえのない思い出になったことと思います。

恵まれた環境で伸び伸びと素直に育ったおかげなのか、たまに迫力のあるまっすぐな面を決めるところが個人的に非常に気に入っています。これからも多くの人に育ててもらいながらまっすぐに成長してほしいと思います。

(背はほどほどにしてくれないと家も車も狭いです。)

工藤さん
(母)



駒剣には娘が五年生の夏頃からお世話になりました。先に入会していた弟の悠が、家で防具の手入れをしたり素振りをする姿を見て、やってみたいと思ったようです。有里子はもともと体を動かすのが大好きで、きっと剣道には向いているだろうと思っていましたが、私の予想を遥かに超えて夢中になれていました。実は負けず嫌いな性格や、真面目に努力できる場所があるので、そういうところが剣道にぴったりはまったなという印象です。

試合では、負けてばかりでとても悔しい思いをしていました。ただ、その度に練習への意欲が増していき、上手な周りの駒剣士達に追い付こうと努力していました。今まで勝敗のある習い事をしてこなかったのも、有里子にとって剣道は新鮮な楽しみとなっていたと思います。

入会してから今まで、稽古には常に前向きに頑張っていたと思います。それも、先生方から頂いたたくさんのご指導、駒剣士の皆の優しい雰囲気、保護者の皆様の温かさに支えられたからこそと、感謝しております。友達と仲良く過ごしている姿や、稽古で褒められて嬉しそうにしている姿、練習で頑張っていた技が試合でやっと出せるようになった時、私も嬉しかったです。中学校でも剣道が続けると言っておりますので、駒剣での経験を活かし今後も頑張ってもらいたいです。

私も、日頃の稽古や様々な行事を通して、今まで全く知らなかった剣道の魅力を知ることができました。まだ短い期間ですが、子供に剣道を習わせて良かったなと思いますし、駒剣でのご縁をこれからも大切にしていきたいと思っています。悠の卒業まで、後援部として駒剣士の皆の成長を見守れることを楽しみにしていますので、今後どうぞよろしくお願い致します。

高山くん(母)



隼平は、中学から剣道を始めた兄の稽古を見に行っていた時に、そこでご指導くださっていた尾島先生や、駒剣OBの保護者の方々にも声をかけていただき、3年生の時に剣道教室に参加させていただきました。駒剣では先生方がいつも優しく教えてくださり、褒めてくださるので一度も「行きたくない」と言った事はありませんでした。

後半は、剣道はさることながら、仲間たちとのおしゃべりが楽しくて仕方がなかったようです。

両親共に剣道未経験でしたが、「お父さん・お母さんのための剣道体験教室」や「スコアつけ教室」、「竹刀の手入れ・袴のたたみ方教室」などに参加させていただき、稽古や試合を見ているうちに隼平と一緒に剣道を楽しむことができるようになりました。

また、我が家は父がお当番とこまけんだより係、母は六送会と分担して関わらせていただいたので、共通の話題が増えた事もよかった事の1つです。このように、大好きな剣道と仲間たちに出会わせてくださった駒場剣友会と関わる全ての方々にこの場を借りて改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

出口さん(母)



ご卒業おめでとうございます。夏帆は約3ヶ月前の昨年11月末に入会させて頂きました。本人がこちらに寄せたメッセージにもある通り、中学校見学で剣道部を見て、やってみたい、という気持ちが芽生えたことがきっかけでした。かなり前から中学は吹奏楽部に入りたいと言って金管バンドにも入り、中学でやりたい楽器まで決めていたので、中学見学の後も自分からはっきりと剣道がしたい、剣道部に入りたい、と言ったわけではなかったのですが、私が気持ちの変化を察知して、「剣道部でも良いんじゃない？」と軽く振ってみたところ、あまり迷うことなく「うん」と答えました。そのあと程なくして、廣江先生から「それなら今からでも入会しませんか？」とお誘い頂いたことは親子共々思いがけないことでしたが、皆さまの温かいご理解に後押しされるような形で入会させて頂きました。

入会してすぐ寒稽古メニューが始まったため、付いて行けるかどうかや、大きな声が出せるようになるのか、など心配をして見ていましたが、意外にもあまり違和感なく竹刀を振り、当たり前のように声も出していました。もちろん、初心者の動きや声量でしたが、まるで、前から剣道をやることが決まっていたかのように自然に馴染んでいる姿を見て、不思議ながらも夏帆の新しい一面を発見できたようで、嬉しい気持ちになったことを思い出します。

夏帆が駒剣に抱いている印象は「平和」なのだそうです。私自身も駒剣のことは大好きで、とても居心地の良い場所であると感じていましたが、その理由を夏帆が肯定的に呟いたその一言で納得できました。

そんな駒剣で教わったこと、感じたことを支えに、新生活を楽しみながら成長し続けてくれることを願っています。

見守って下さった皆さま、本当にありがとうございました。

戸田さん(母)



駒場剣友会の皆様大変お世話になりました。娘が剣道を始めたのは小3の冬頃です。夢に近づく為に始めました。しかしコロナが流行り以前の教室はお休みになってしまいました。近くの教室を探し、駒場剣友会に6年の春に入会しました。駒剣で色々な経験が出来てとても良かったです。又楽しく稽古に通う事が出来たと思います。剣士の皆様、一緒に稽古ありがとうございます。師範の先生、錬成部、後援部の皆様、ご指導いただき心より感謝申し上げます。

中山さん(母)



4年生から道祖土小学校に転校して、新しい環境にもようやく少し慣れてきた5年生の終わり頃、図書室の本を見たり学校の先生に勧められて「剣道がやりたい！」と本人から言い出した時には旦那と2人とても驚いた事を覚えています。6年生からの入会で経験も無く、お稽古についていけるかなど、不安も多くある中で優しくご対応頂き早く入会させて下さった駒場剣友会の皆様には大変感謝しております。入会直後から親身に丁寧にお稽古をつけて頂いたおかげで、2月の浦和少年剣道錬成会にも団体戦で参加することができました。初めての大会出場でしたが、怯まず相手に立ち向かう力強い娘の姿を見た時は、本当に感動しました。1年という短い期間でしたが、こんなに成長した娘の姿を見ることができたのも、親身にご指導頂いた師範の先生方や錬成部の先生方、一緒にお稽古をして頂いた駒剣士の皆様、そして色々なサポートをして下さった保護者の皆様のおかげです。夏の合宿やクリスマス会など、新しい土地で頑張る娘に沢山の心に残る思い出を頂いた事もまた感謝してもしきれません。1年間本当にありがとうございました。

百木さん(母)



剣道が好きな主人の勧めで、長男が4年生、廉珠が2年生の時に剣道を始めると、浦和の剣友会を見学して歩きました。何げなく立ち寄った駒場体育館はその日、偶然にも体験教室申し込み日でした。稽古をひっそりと廊下から見学していると、当時の副部長さんが「駒剣はとてもよいところですよ」と声をかけてくださり、その温かさにそのまま体験教室の申し込みをしました。

入会当初、何ができなくとも小さな娘が大きな先輩方の中で稽古をしているだけで、「頑張っているな、偉いな、可愛いな」と目を細めていました。私自身子どもの頃は剣道が好きではなかったのに、娘には楽しんでもらえればそれでよいと、温かく見守っていかうと考えていました。

時が経つにつれ、楽しいだけではない剣道をもう辞めたいと壁につかまって離れず、引き剥がして連れて行く日もありました。責任感のある子なので、稽古に参加すれば全うしますが、行きたくないと車から降りず、力づくで連れて行く日もありました。家では口を出さないつもりが、上達すればまた楽しくなるのではとつい口を出してしまうことも、気持ちが前を向かないことにお互い腹が立つこともしばしばありました。

家族で剣道をすれば楽しくなるのではと私も剣道を再開しましたが、私は怪我をし、娘には来ない方がいいと言われ、何の解決にもなりません。それでも我が子と一緒に剣道ができたことや、辛いことに立ち向かっていく姿を見ることができたことはとても幸せでした。

長男の時にも思いましたが、好きではないことを続けるのは、とても辛く苦しいことです。こんなに剣道が好きではない娘が、辞める辞めると言いながら5年間辞めることなく継続できたのは、温かく声を掛け愛情深くご指導くださった先生方のお陰であり、優しく迎え入れ支えてくださった後援部の皆様のお陰であり、娘と仲良くしてくれた駒剣士の皆様のお陰だと思います。ありがとうございました。卒業まで続けることで得られたものはたくさんあると思いますので、その全てが今後の廉珠の力になるといいなと思います。

私は駒剣の「子ども達みんなを我が子のようにかわいがる」という教えが好きです。駒剣と駒剣の子ども達を思い、先生方や保護者の皆様が我が子のように優しくも厳しくも接し、迎え入れてくださるからこそ、駒剣はいつも温かいところなのだと感じます。

入会当初に言われた「駒剣はとてもよいところですよ」に間違いはなく、我が子が剣道をご指導いただけた場が駒場剣友会で良かったと、心から感謝申し上げます。

保岡さん(父)



ある日、妻にいきなり連れられて伺った稽古体験。蘭が、5年生になる直前の春休みのことでした。

稽古から帰ってきて、剣道やりたいという言葉がすべての始まりでした。

その後、どんどん稽古にのめり込む娘の姿をみて、とても頼もしく思う日々でした。始めにいただいた道着は小さくなくなり、少し大きめで卒業までに着る機会はあるだろうかと思っていた白い道着がいつの間にやらぴったりに。

また、日々の生活での礼儀や集中力が身についたことに驚きを覚えました。駒剣にお世話になったのは、他の同学年の方に比べて期間は短かったですが、親子共々大変お世話になりました。

私どもが入会する前には、コロナ禍で行事活動だけでなく稽古もできない時期が続いていたとのお話をききました。そんな期間でも、駒剣の活動を継続するために尽力いただきました師範の先生方、保護者の皆様方ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます



いままでありがとうございました

中学生になっても駒剣にきてくださいね

石井のetc日記 ②やどかさんとのお茶会



お久しぶりに

お会いできた先生方...

うれしかったです。

Mらおか先生が、

最近息子の母校に

顔出しておられると

トウチキ

ふふーん
うんうん
うんうん

木の中のお茶会

と、
なぜか自慢

ヤレたもんで



と、うんにはりあつて

ムムムー

あんなもーん!!!

と、

トウチキさんだよ

自慢も...

をうんうんも

ました。

うんうんも
ありますん...



また、試合中

単調に

打つなっ!!

相手を

ぐずして打て!!

と、トウチキさん...

やどかさんの

先生方の

応援が

とっても勉強に

なりました。

トウチキさん